

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-246-7700(中央図書館)

年度	平成28年度		
施設名	新潟市立中央図書館(ほんぼーと)	所管部・課	中央図書館企画管理課・サービス課
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.6.5
歳入	18,620	正職員	25	修正日	
歳出	684,265	非常勤	15	評価日	H29.5.31

※予算は新潟市全体

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				
1	市民	多様化する市民ニーズに応えるために必要な資料を収集し、利用の拡大を図ります。	個人への貸出点数(点) (視聴覚資料含む)	1,280,257	1,257,356	1,214,240	1,210,000	1,153,089	雑誌・視聴覚資料を含む。 ・社会情勢や市民ニーズに応える資料収集	・ネット環境が整ってきたことや予約で読みたい本だけを借りるスタイルに変わってきたことが原因のひとつと考えられます。	C:未達成
2	市民	多様化する市民ニーズに応えるために必要な資料を収集し、利用の拡大を図ります。	「いきいきBOX」団体貸出セット数(セット)	-	75	237	250	151	H26年11月より実施。 ・高齢者施設向け団体貸出セット「いきいきBOX」の充実	・高齢者施設に図書館利用が定着し、セットではなく通常の団体貸出に移行したため減少しました。	C:未達成
3	市民	新潟市子ども読書活動推進計画に基づく事業を実施し、子どもの読書環境の整備を推進します。	学校への団体貸出冊数(冊)	22,743	24,933	29,133	29,500	33,486	図書館ビジョン「学・社・民融合型図書館」 ・学校貸出図書搬送 ・学校貸出セット「オレンジBOX」の充実	・学校図書館の活用が進み、小中学校の利用が増加しました。	A:達成(優)
4	市民	市民の身近な課題を解決するためのレファレンス(調査・相談)サービスを充実します。	レファレンス(調査・相談)件数(件)	26,804	25,835	26,441	26,500	23,879	図書館ビジョン「課題解決型図書館」 ・レファレンス(調査・相談)サービスやオンラインデータベースの周知	・減少の理由としてスマホの普及など、ネット環境が整ったことで、気軽に検索できるようになったことが考えられます。	C:未達成
5	市民	生涯学習環境の基盤整備のため、市民の資料提供の要望に応えます。	中央受取の個人予約件数(件)	137,670	138,368	142,452	143,000	143,287	・窓口、館内端末、インターネット等からの予約受付	・予約手段を分析すると、スマホ経由の予約が増えています。	A:達成(優)
6	財務	管理運営費の削減をします。	光熱水費(千円)	29,613	33,132	30,225	29,700	27,972	電気、ガス、上下水道経費の合計(H26年4月より消費税5%→8%) ・クールビズ、ウォームビズの周知徹底	・節約に心がけ、目標を達成しました。	A:達成(優)
7	業務	図書館情報システムの更新により、インターネットを使ったサービスによる利便性の向上を図ります。	HPアクセス件数(件数)	1,296,557	1,399,303	1,321,199	1,360,000	1,157,724	H26実績とH27実績の平均値を設定。 ・キッズページの充実とデジタルアーカイブの拡充	・HPアクセス件数は、PC用ページのトップページのみカウントしています。スマホからの予約件数は増えているので、スマホ利用に移行していると思われる。	C:未達成
8	業務	市民参画と協働を推進します。	ボランティア活動者延べ人数(人)	1,073	1,178	1,193	1,200	1,368	・ボランティア団体との共催・連携事業 ・ボランティアの育成	・配架ボランティアの活動が増えたため増加しました。	B:達成
9	人材	職員の職務遂行能力(専門的能力・待遇)の向上を図ります。	職員のスキルアップのための研修への派遣及び内部研修受講職員数(人)	183	195	153	160	240	図書館ビジョン「効率的・効果的な運営」 ・初任者研修 ・生涯学習関係非常勤嘱託新任研修	・全職員対象の研修が増えました。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>平成27年3月に策定された「新潟市教育ビジョン 第3期実施計画」「新潟市立図書館ビジョン 後期施策・事業計画」、「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、市民の読書活動を推進するための事業を実施します。</p> <p>入館者数と個人への貸出点数は減少傾向にあります。しかし、「いきいきBOX」や学校への貸出点数、また中央図書館受取の個人の予約件数は増加しています。団体貸出やボランティア団体との協働を増やし、個人の利用に結び付けていきます。</p>	<p>インターネット環境が社会に普及したことにより、図書館の利用の仕方に変化が出てきています。このため、新たなニーズの掘り起こしを行う必要があります。</p> <p>平成29年度は、ほんぼーとが10周年を迎えるので、記念事業実施等において、さらにボランティアとの協働を進めます。</p>